



▲橋上に残されたレールの解体撤去 (平成25年12月)



▲倒壊した橋脚土台部分を川底から撤去 (平成26年5月)



▲新たな橋脚の据え付け作業 (平成26年6月)



▲橋脚に新たな橋桁を懸架 (平成26年9月)



▶豪雨災害で橋脚と橋桁が流失した杣川橋梁

SKR復活の軌跡

平成25年9月16日。台風18号による豪雨災害で杣川橋梁が流失するなど甚大な被害を受け運休を余儀なくされた信楽高原鐵道(SKR)。住民の熱い思いと、多くの方の力添えで困難を乗り越え復活したSKRの軌跡を追いました。

壊れた橋梁や線路を撤去した後、本復旧工事は平成26年2月末に始まりました。

倒壊した橋脚は土台から作り変え、7月に据え付けが完了。新たな橋桁の上に再びレールが敷かれたのは10月中旬のことでした。

安全確認のための試験運行を経て、SKRは当初の目標よりも約1か月早く運行を再開し、被災翌日から続いた代行バスも無事に役目を終えました。

利用者や沿線住民らは、SKRの復活に向けた署名活動や駅舎の清掃美化活動を続けました。

また駅や線路、車両などを会場にイベントを開催し、SKRを中心とした地域のつながり確かめ合いました。

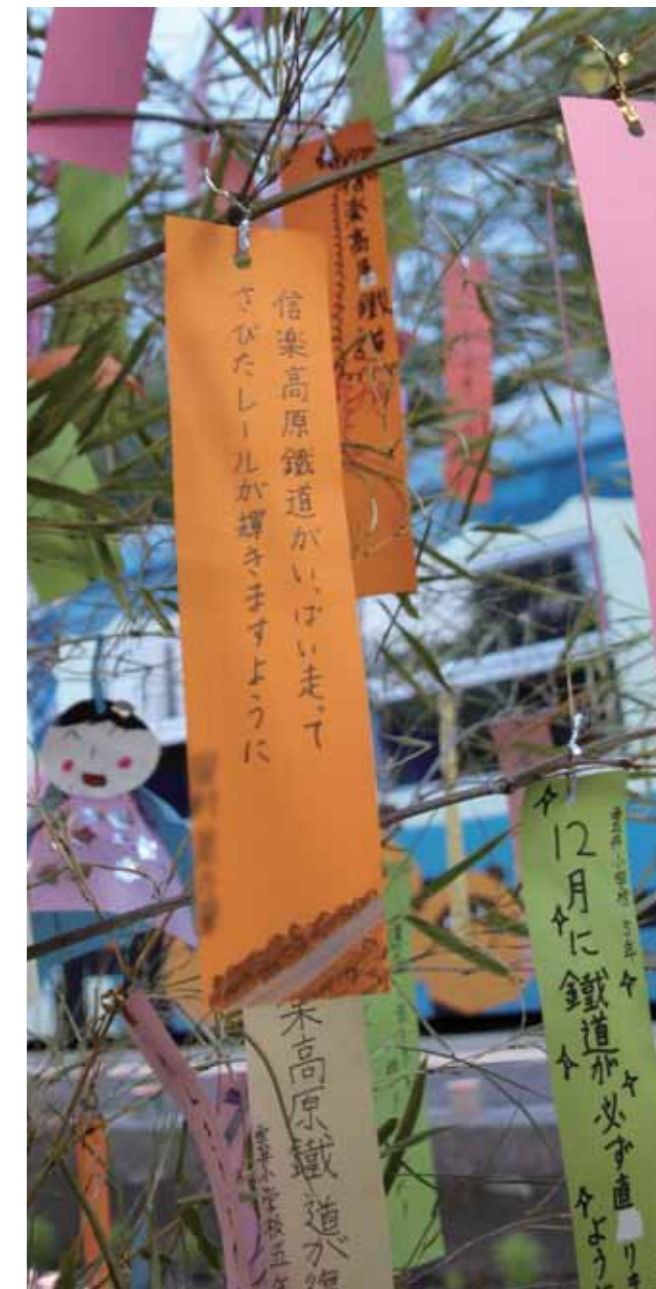
沿線の植樹や遊歩道整備など観光客を迎える準備をはじめ、今後の利用促進を見据えた取り組みも始まりました。



▲再び一本につながったレール (平成26年10月)



▲運休期間中、地域の交通を支えた代行バス



▲七夕短冊に込められたSKR復旧への願い



▲SKR再開を願う署名活動